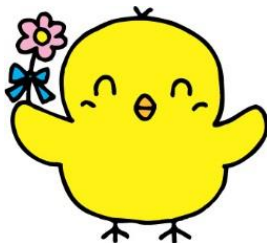


乳幼児教育相談（ひよこルーム）

対象 0歳児～5歳児のお子さんと保護者



乳幼児教育相談は、聴覚に障害のあるお子さんをどのように育てたらよいかについて、保護者の方に学んでいただくところです。

どのようにコミュニケーションをとればいいのかしら？

どんな補聴器をつければいいのかしら？
補聴器をつけるときこえるようになるの？

手話はどうして必要なの？
手話を覚えないといけないのかしら？

きこえないと、大きくなって困るのでは？
どんな大人になるのかしら？



お子さんの難聴がわかったばかりの保護者の皆様は、「聴覚障害」がどのようなものか、不安でいっぱいではないかと思われれます。保護者の方々の疑問やご心配な点について、私たちは丁寧に対応していきますので、どうぞ安心して、いらしてください。

乳幼児教育相談では次のような活動をしています。

○保護者の方に学んでいただきたいこと

1 「聴覚障害」理解

保護者の方が、障害を正しく理解できるよう、様々な情報を提供しています。たくさんの聴覚障害者の方に会えるような機会を作っています。将来の見通しが持てることで安心して育児ができるよう、支援します。



2 親子のコミュニケーション

手話や音声言語、写真や絵カード等を使って、親子で豊かに伝え合い、語り合えるよう支援します。

3 聴覚活用

お子さんの聴力は様々です。お子さんが聞くことが可能な環境音、音楽、音声言語について話し合いながら、聴きたい気持ちを育て、生活の中で聴覚を活用していかれるよう、保護者の関わり方について支援します。



4 子育て

乳幼児期にふさわしい遊びや生活を親子で楽しめるよう、年齢や発達に応じた遊びや体験、生活習慣作りを支援します

○保護者支援の内容

1 グループ活動

同年齢のお子さんと保護者の方で集い、親子で季節に応じた遊びや体験活動をしています。活動の後には、親御さん同士の懇談会や学習会をしています。

成人聴覚障害者の方がグループに入って一緒に活動する時もあります。



2 個別支援

お子さんと保護者、担当者の三者で遊びます。お子さんの好きな遊びに沿って付き合いながら、年齢や発達に応じた遊びを提案します。子育ての相談にもゆっくりと応じられる時間です。聴力測定や補聴器の選択、調整もしています。



3 保護者教室

- ① テーマに沿った学習会をしています。
(子育て、聴覚障害理解、聴覚活用、難聴疑似体験、聴覚障害者本人の話や先輩保護者の話等)

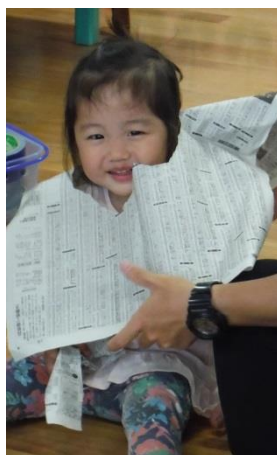


- ② 手話学習会
聴覚障害者の方を講師に招いて、保護者の方が手話を学ぶ時間です。ろう者の方の体験談を聞くこともできます。



4 関連機関との連携

- ① お子さんが通う保育園や幼稚園、療育施設を訪問して、障害理解と配慮について学習会を開き、共通理解に努めています。
- ② お子さんが通う病院の耳鼻科医と、定期的にお子様のきこえや言語、コミュニケーションの様子について、情報交換をしています。



はっきりした診断がまだの方や、
新生児聴覚スクリーニングで
「リファー」と言われた方、
ひよこルームに
通うことができます。

乳幼児教育相談は、保護者の方が
たくさんおしゃべりをして、
情報交換しながら学び合い、
育ちあうところです。
笑顔あふれるひよこルームに
どうぞおいでください。



乳幼児教育相談にご相談のある方は下記の電話番号にお電話ください。

電話に出られない場合は、後程ご連絡させていただきます。

都立葛飾ろう学校 代表電話番号 03-3606-0121

ファクシミリ番号 03-5697-0275

また、下記メールアドレスにご連絡いただくことも可能です。

S1000229@section.metro.tokyo.jp